

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11032	3	後期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	機能看護学Ⅲ (組織とマネジメント) (Management in NursingⅢ : Organization and Management)				
担当教員名	○末永由理/中山純果/嶋澤奈津子				
授業の概要及び到達目標					
<p>よい看護をするための組織・チーム、個人のあり方について理解する。授業内容は1. 組織とは何か、よい組織の条件について学び、実例から卓越した組織のマネジメントについて考える。2. 看護と組織のつながりについて、個人の組織・チームへの貢献の観点から考える。3. 1～2の学修に基づき看護現場におけるマネジメントのあり方を検討し、特に新卒の看護師が直面する課題への取り組みをシミュレーションによって学習する。</p> <p>〈到達目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の理念・目的の達成を目指すものとしてのマネジメントの機能を説明できる</li> <li>・組織とは何か、優れた組織・チームに共通する条件を自分の言葉で説明できる</li> <li>・看護専門職者として組織と個人の理念を共に達成するための在り方と方法を説明できる</li> <li>・看護現場で遭遇する多重課題への対処方法が説明できる</li> </ul>					
準備学習等					
<p>学習を深めるための事前課題を単元毎に提示するので、参考図書等を用いて取り組んでください(第2・5・9回:各2時間)。グループワークの終了時に次回までの課題を設定し、これに取り組んだうえで次のグループワークに参加してください(第5回:1時間)。</p> <p>ゲストスピーカーが所属する組織のホームページを事前に閲覧してください。(第14回:1時間)</p> <p>授業で提示する参考文献の中で関心のあるものを読んでおくと理解が深まります。(2時間以上)</p> <p>また、ビジネス系のTV番組を視聴しておくとも理解が深まります。(1時間以上)</p>					
成績評価の方法	授業への参加状況 48%、事前課題 12%、最終レポート 40%の割合で総合的に評価する。				
テキスト	指定しない				
参考図書	授業にて提示する				
備考	<p>機能看護学Ⅰ・Ⅱでの学修内容を活用した授業を行います。また、本科目は機能看護学Ⅳ(トップマネジメント)につながる科目です。</p> <p>実習時間との調整のため授業が不定期です。開講日時は初回授業で提示しますので、時間割に注意してください。また、初回授業は7月に実施します。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。</p> <p>グループワークに記載するミニレポートは、コメントを入れて返却しますので、以降の学習に活用してください。</p> <p>各教員のオフィスアワーについては看護学科「オフィスアワー」の項を参照ください。</p>				

## 授 業 計 画

1. 導入：キャリアマネジメントでの学習の振り返り・授業概要説明, 優れた組織とは/講義  
(末永)
2. 優れた組織のマネジメント①  
事前課題の共有、ディスカッションテーマの設定/グループワーク (末永・中山・嶋澤)
3. 優れた組織のマネジメント②  
決定したテーマに関するディスカッション、学びの共有/グループワーク (末永・中山・嶋澤)
4. 看護サービスのマネジメント：看護組織の構造とサービス提供体制、看護の質保証/講義  
(末永)
5. 看護組織とマネジメント①：事前課題の共有/グループワーク (末永・中山・嶋澤)
6. 看護組織とマネジメント②：決定したテーマに関するディスカッション/グループワーク  
(末永・中山・嶋澤)
7. 看護組織とマネジメント③：学びの共有/交流ワーク (末永・中山・嶋澤)
8. 看護サービスのマネジメント：看護における職場環境のマネジメント/講義 (中山)
9. 看護現場における課題の達成①：患者のケア予定表の作成/講義・個人ワーク  
(末永・中山・嶋澤)
10. 看護現場における課題の達成②：看護師のケア・業務のカード化/グループワーク  
(末永・中山・嶋澤)
11. 看護現場における課題の達成③：看護師の行動計画の作成/グループワーク (末永・中山・嶋澤)
12. 看護現場における課題の達成④：看護師の行動計画の作成/グループワーク (末永・中山・嶋澤)
13. 看護現場における課題の達成⑤：学びの共有/発表 (末永・中山・嶋澤)
14. 看護組織におけるマネジメントの実際：ゲストスピーカー招聘/講義 (外部講師)
15. 看護マネジメントにおける課題と展望, 総括/講義 (坂本)